相生山病院外来担当医師表

外来診療責任者　副院長　松浦　昭

診療時間	診察室		月	火	水	木	金	土
9:00〜12:00	外来	1診	越　川	鈴　木	町　田	蛭　川	奥　田	奥田・鈴木
		2診	【予約診療】佐　藤（貴）	坂　野	【予約診療】佐　藤（貴）	松　浦	相　馬	殿　村
		リハビリ科	奥　田	奥　田	倉　上	服　部	服　部	倉　上
	内視鏡			松　浦		吉　田	松　浦	
14:00〜16:00	専門外来		ボトックス外来 服　部 ペースメーカー外来 奥　田			摂食・嚥下外来 服　部		
17:00〜19:00	夜外来		町　田	殿　村	鈴　木	蛭　川	【予約診療】佐　藤（貴）	

急患の方はいつでも診察いたします。

第45回 医療法人清水会創立記念式典・永年勤続表彰

令和2年度 永年勤続表彰者

勤続30年

鈴木　康三（診療放射線技師）

日比野 みずほ（臨床検査技師）

勤続20年

平野 明子（看護師）
近藤 比呂美（喫茶）
濱島 孝子（看護師）

勤続10年

竹内 久美子（経理）
村瀬 幸恵（言語聴覚士）
近藤 慧未子（作業療法士）
齊藤 恵里（看護師）
藤本 一恵（言語聴覚士）
小野 めぐみ（看護師）
久保田 理恵（看護師）
假屋 明里（検査助手）

お知らせ

『健康になってちょ!』講演会 と **ボランティア** は
しばらくの間、中止とさせていただきます。
再開をお楽しみにお待ちください。

講演会やボランティア参加のお問い合わせはTEL(052)878-3711へお電話ください。

ご自由にお取りください

相生山病院ニュース

2021 冬号 第57号

●編集／医療法人 清水会 相生山病院広報委員会●名古屋市緑区藤塚三丁目2704番地 TEL(052)878-3711●https://www.aioiyama.or.jp/

新年のご挨拶

～新型コロナウイルス感染症～

相生山病院　院長　佐藤貴久

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。皆様にとって昨年はどのような1年になったでしょうか？

英国のEU離脱、台湾総裁選、黒人差別問題の拡大、米国大統領選、藤井聡太二冠獲得、天皇陛下一連の儀式など、世界でも日本でも歴史に残るであろう大きな出来事はありましたが、すべて新型コロナ感染症の話題にかき消され、コロナ一色という感じになってしまったのではないでしょうか。

そこで、本来なら年始ですからおめでたい話題や未来に繋がるお話をしたいところですが、今年ばかりは新型コロナウイルスのお話をさせて頂きたいと思います。

私がこの記事を書いているのは12月ですが、現在のところ第3波が猛威を振るっています。感染拡大防止の観点からの自粛要請と、減衰した景気回復を期待してのGO TO キャペーンという相反する両輪を都合よく回そうとしたが故に、残念ながら第３波が終息することなく、新年を迎えることになりそうです。感染の専門家より第3波は第2波の約3倍になると言われておりますが、さてどうなっているのでしょうか？

連日「医療崩壊の危機です」等の報道を聞きますが、なぜこのような状態になってしまうのかといえば、患者が増えることのみが要因ではなく、職員が感染者や濃厚接触者ということになれば約2週間の自宅待機をさせる必要があり、マンパワーが足りなくなるからです。関連介護施設が多く、ご高齢の方が多く入院する相生山病院では新型コロナ患者様の受け入れは行っていませんが、多くの公立病院や一部の民間病院ではコロナ患者様を受け入れるため迅速に準備し、懸命に対応して頂けていると感謝しています。

しかし、このようにコロナに対応している病院程、人員的にも経営的に打撃が大きいのです。国もそのような医療機関を支えるため、二次補正予算までに約3兆円もの財源を用意しました。一時的にはコロナ受け入れ病院の経営悪化の下支えにはなりましたが、財源のない国としてもいつまでも続けるわけにはいきません。インフルエンザより死亡率の低い現状を考慮し、ワクチンや治療薬が確立すれば第2類の特定感染症から新型コロナを外し、インフルエンザ並みの扱いとして頂ければ医療体制は維持しやすくなります。

一方で、今の状態が本来の診療必要度を反映しているという意見もあります。本当に受診が必要な人以外は受診されない、今の状況こそ2040年以降到来する高齢者人口減少に伴う病床過剰時代が予定より20年早く到来したのだという意見です。

多くの失業者が出て自殺者も増えることが懸念されており胸が痛くなりますが、一方でこの状況下でも生きていけるように我々は変化して生き残らなくてはならないのです。生物というのはそのように存続してきたのです。コロナ蔓延の英国では店内販売はすべて中止で、持ち帰りか宅配のみで営業しています。なかなか営業成績は厳しいようですが、「家でレストラン品質の料理が食べられる」「自宅で通常調理できない料理が食べられる」と好評なようです。もう少し変化することができれば、採算の取れた経営体制が取れそうです。英国と同じように今後も感染拡大が続くことが予想される日本の飲食店も変化していくのでしょうか？同様に税金が投入される医療介護業界にも変化が必要なのだと思います。「本当に必要な医療・介護を患者様・ご利用者様が望まれる形で提供する」このことを更に突き詰めていく時代に入ったと思います。何年か経った後、新型コロナがあったことが良い経験になったと言えるように変化していくことが大切だと思います。このことはすべての業種に通じるのではないでしょうか？全集中で敏感に反応し、この苦難を乗り切って頂きたいと思います。

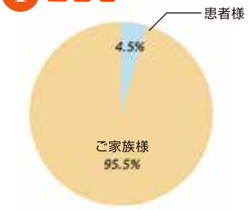
本年が皆様にとって飛躍の年となりますことを心から願っております。

本年も何卒宜しくお願いいたします。

令和2年　入院満足度調査結果

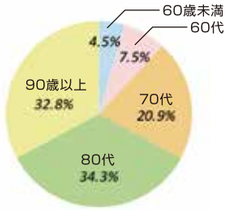
<対象者>　令和2年10月　入院患者様（ご家族様）　<回答者数>　67名

1 回答者

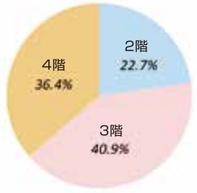


2 患者様の性別

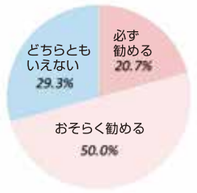
3 患者様の年齢



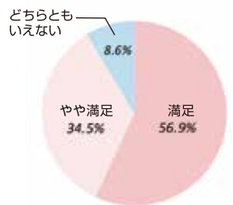
4 入院している病棟



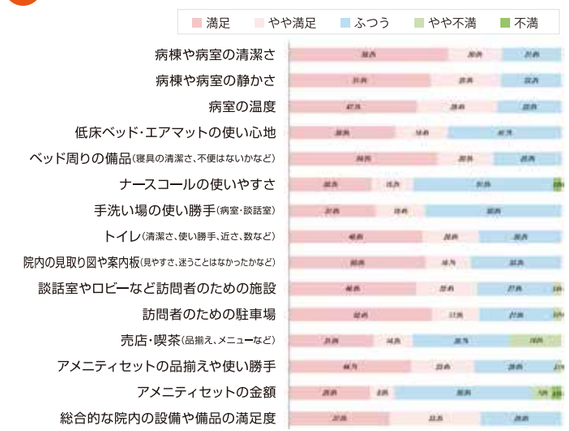
5 友人やご家族に当院を勧めるか



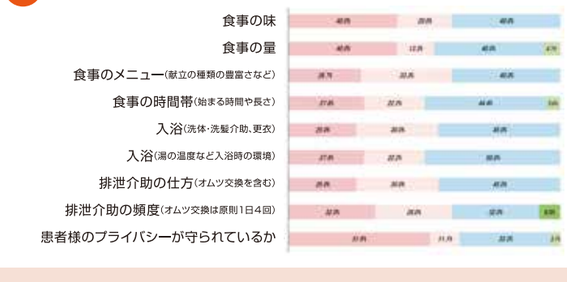
6 総合的に当院に満足しているか



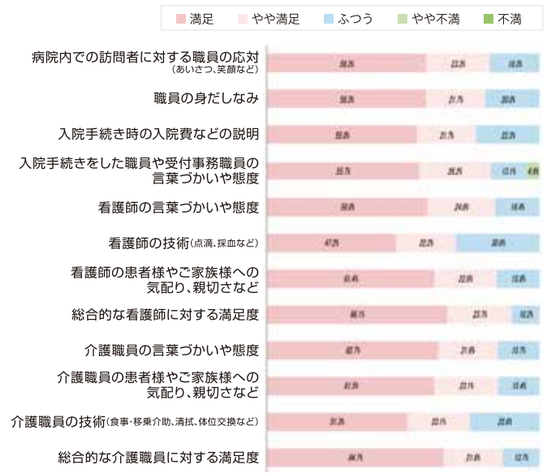
7 院内の設備や備品に対する満足度



8 入院生活に対する満足度

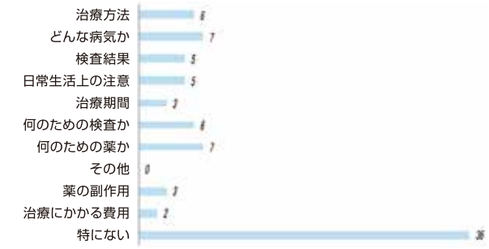


9 職員に対する満足度①

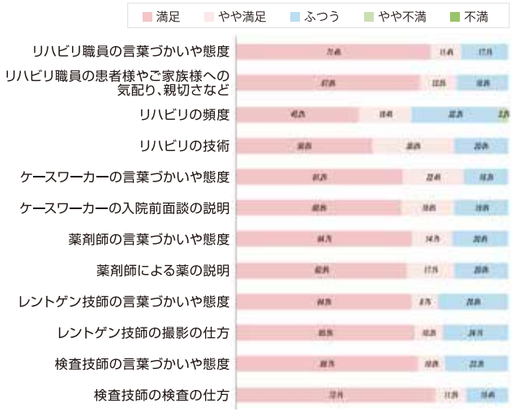


10 医師に対する満足度

11 医師から診察の時にもっとよく説明してほしいと思ったこと（複数回答）



12 職員に対する満足度②



献血 ～愛知県赤十字血液センターから献血バス来院～　11月25日(水)

40名の方にご協力いただきました。
ありがとうございました。

消防訓練　夜間想定4階